

本資料の情報に関する注意

本資料には試験方法等が確立していない内容も含まれており、あくまでも記載されている試験方法で得られた結果を事実として提示している。医療従事者が臨床適用を検討する上での参考情報であり、可否を示すものではない。

安定性試験

(無包装状態)

ピオグリタゾン OD 錠 30mg 「日医工」

無包装状態の安定性試験

ピオグリタゾン OD 錠 30mg「日医工」の無包装状態における安定性を検討した結果、60℃、30℃・75%RH、曝光下の保存条件における各試験項目は全て規格内であった。

尚、30℃・75%RH の保存条件において、参考値として測定した硬度は、開始時：49.6N、2週間後：10N 以下であった。

試験期間：2010/11/4～2011/5/6

● 無包装 60℃ [遮光・気密容器]

(最小値～最大値)

試験項目 <規格>	ロット 番号	保存期間			
		開始時	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月
性状 <白色～帯黄白色の割線入り 素錠>	020101	白色の割線入り 素錠であった	白色の割線入り 素錠であった	白色の割線入り 素錠であった	白色の割線入り 素錠であった
純度試験 (HPLC) <※1>	020101	適合	適合	適合	適合
溶出性 (%) n=6 <30 分, 65%以上>	020101	96.0～97.0	90.7～92.7	86.6～88.3	84.5～88.0
崩壊性 (秒) <60 秒以内>	020101	23～32	23～25	27～29	27～29
含量 (%) ※2 n=3 <95.0～105.0%>	020101	98.8※3	99.2～99.7	99.3～99.4	98.5～99.7
(参考値) 硬度 (N) n=10	020101	49.6	61.5	62.6	60.2

※1：個々の類縁物質：0.2%以下，総類縁物質：0.5%以下 ※2：表示量に対する含有率 (%) ※3：開始時 n=1

● 無包装 30℃・75%RH [遮光・開放]

(最小値～最大値)

試験項目 ＜規格＞	ロット 番号	保存期間				
		開始時	2週	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月
性状 ＜白色～帯黄白色の割線入り素錠＞	020101	白色の割線入り素錠であった	白色の割線入り素錠であった	白色の割線入り素錠であった	白色の割線入り素錠であった	白色の割線入り素錠であった
純度試験 (HPLC) ＜※1＞	020101	適合	適合	適合	適合	適合
溶出性 (%) n=6 ＜30分, 65%以上＞	020101	96.0～97.0	95.1～98.4	83.8～85.1	77.9～81.7	74.6～76.6
崩壊性 (秒) ＜60秒以内＞	020101	23～32	20～29	16～32	13～25	16～23
含量 (%) ※2 n=3 ＜95.0～105.0%＞	020101	98.8※3	100.6～ 101.6	98.1～ 99.3	98.8～ 99.5	98.8～ 99.8
(参考値) 硬度 (N) n=10	020101	49.6	10以下	10以下	10以下	10以下

※1: 個々の類縁物質: 0.2%以下, 総類縁物質: 0.5%以下 ※2: 表示量に対する含有率 (%) ※3: 開始時 n=1

● 無包装 曝光量 120万 Lx・hr [D65光源 (約 1000Lx)・シャーレをラップで覆う]

(最小値～最大値)

試験項目 ＜規格＞	ロット 番号	総曝光量		
		開始時	60万 Lx・hr	120万 Lx・hr
性状 ＜白色～帯黄白色の割線入り素錠＞	020101	白色の割線入り素錠であった	白色の割線入り素錠であった	白色の割線入り素錠であった
純度試験 (HPLC) ＜※1＞	020101	適合	適合	適合
溶出性 (%) n=6 ＜30分, 65%以上＞	020101	96.0～97.0	93.3～97.2	93.6～100.2
崩壊性 (秒) ＜60秒以内＞	020101	23～32	28～32	30～36
含量 (%) ※2 n=3 ＜95.0～105.0%＞	020101	98.8※3	98.9～100.7	100.5～101.6
(参考値) 硬度 (N) n=10	020101	49.6	42.1	42.6

※1: 個々の類縁物質: 0.2%以下, 総類縁物質: 0.5%以下 ※2: 表示量に対する含有率 (%) ※3: 開始時 n=1